

件名	待機児童解消対策事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
377,288		215,221	58,686	54,000	1,126	48,255

【事業の背景・目的】

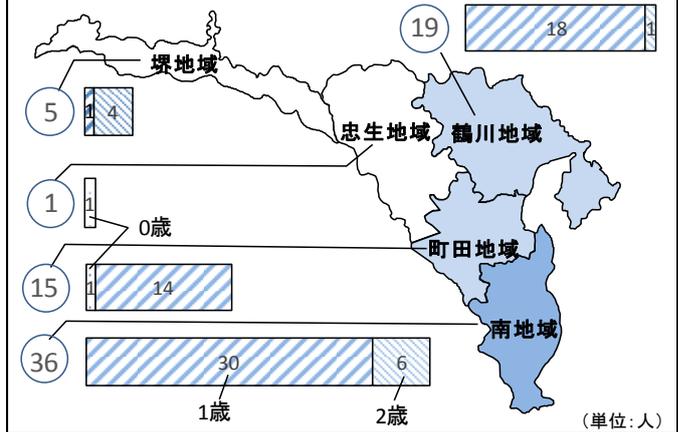
市では、「第二期町田市子ども・子育て支援事業計画(2020～2024年度)」(以下「計画」)に基づき、保育施設整備を進めてきましたが、2021年4月時点での待機児童数は76人と未だ待機児童の解消ができていません。

計画では、2021年度以降の保育施設整備は予定していませんでしたが、2021年5月に待機児童が多い南地域のみ計画の見直しを行いました。見直し結果に基づき、2021年度に2022年4月開設の小規模保育所1園、2022年度に2023年4月開設の認可保育所1園を整備します。また、施設整備に加えて、既存幼稚園による1歳児の一時預かり事業と既存認可保育所の空き定員や余裕スペースを活用し、待機児童が多い1歳児を一時的に受入する事業を新たに実施します。さらに、既存事業の送迎保育ステーション事業を引き続き実施し、子育て世帯の支援を促進していきます。

II 部別予算概要説明書 197、199 ページ

年度	2017年4月	2018年4月	2019年4月	2020年4月	2021年4月
待機児童数	229人	146人	127人	130人	76人
対前年度増減	47人	△83人	△19人	3人	△54人

■町市内【地域別】における待機児童数の分布(2021年4月時点)



【事業の内容】

①認可保育所整備事業(2023年4月開設)

南地域に、定員80人規模の認可保育所1園を開所するための施設整備費、備品購入費等を補助します。

事業内容	地域	定員数	定員増		開所予定
				うち3歳未満	
認可保育所整備事業	南	80人×1園	80人	32人	2023年4月

②幼稚園一時預かり環境整備事業

南、鶴川、町田地域において、2023年4月から1歳児の一時預かり事業を実施する事業者に対し、事業開始に要する費用を補助します。

事業内容	地域	預かり可能人数	実施予定
幼稚園一時預かり整備事業	南	4人×1園	2023年4月
	鶴川	4人×1園	
	町田	4人×1園	
合計		12人(3園)	

③余裕施設活用型1歳児受入事業

南地域で、認可保育所の3歳から5歳児の空き定員や余裕スペースを活用し、待機児童の多い1歳児の受入を実施するための運営費及び事業開始に要する備品等の購入費を補助します。

対象施設	認可保育所
設備・運営基準及び保育内容	認可保育所の基準、かつ同様の保育サービスを提供
対象児童	保育認定を受け、待機児童となった1歳児
利用料金	認可保育所の負担額に準じる
実施期間	2022年4月～2023年3月
受入人数	3人

※ 2歳児以降は継続しての受入が難しいため、保育を希望する場合は、他の施設への入所申込が必要になります。

④送迎保育ステーション事業

朝と夕方、児童が日中在籍する施設に登園するまでの間と、降園してから保護者が迎えに来るまでの間、その児童を送迎保育ステーションで一時的に預かり、送迎バスで、日中在籍する施設への送迎を行います。

施設名	つながり送迎保育園・もりの
対象児童	保育認定を受けた1歳～5歳児
利用料金	月額2,000円(延長保育を利用する場合、別途費用あり)
定員	32人
送迎先	認可保育所8園、認定こども園4園(忠生・町田地域)

<1日のタイムスケジュール>

7:00	8:00	9:00	16:00	17:00	18:00	20:00
ステーションで 預かり	送 迎	日中は、それぞれの 在籍園で過ごします	送 迎	ステーションで 預かり	延長保育	

【主な事業費】

①民間保育所整備事業費補助金	307,589 千円
②幼稚園一時預かり補助金(3園)	12,000 千円
③保育所等運営費加算補助金	8,452 千円
④送迎保育委託料	39,453 千円

【主な特定財源】

①保育所等整備交付金(国 2/3)	196,171 千円
待機児童解消支援事業費補助金(都)	43,447 千円
保育所整備事業債	54,000 千円
②子ども・子育て支援交付金(国 1/3)	4,000 千円
子ども・子育て支援交付金(都 1/3)	4,000 千円
③緊急1歳児受入事業費補助金(都)	6,996 千円
④保育対策総合支援事業費補助金(国 1/2)	13,796 千円

問合せ先	子ども生活部 子育て推進課長 市川	電話	724-4468
	保育・幼稚園課長 大坪		724-2138

件名		保育の質向上推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,045			0	0	0	45
【事業の背景・目的】		Ⅱ 部別予算概要説明書 197 ページ				
<p>昨今、共働き世帯の増加や保護者の勤務形態の多様化等に伴う保育ニーズの急増により、待機児童の対策として、市では、保育施設の整備を行ってきました。</p> <p>保育所等は、児童福祉法に基づいて、保育を必要とする子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的とする児童福祉施設であり、量的確保だけでなく、「量」と「質」の両面を確保していく必要があります。</p> <p>2021年度は、町田市の保育所等が子どもの人権・人格を尊重した保育を実施するとともに、保育の質向上推進を目指す基本的な指針である「町田市保育の質向上推進ガイドライン」を策定しました。</p> <p>保育士等が、保育サービス利用者の満足度向上と、保育サービス提供者がいきいきと働ける環境を実現し、安定的な保育を提供するため、保育の質の向上に取り組めます。</p>						
【事業の内容】						
取り組み項目	取り組み内容					
①保育・コンシェルジュによる訪問を基本とした相談・助言	保育コンシェルジュが教育・保育施設を訪問することにより、保育の見直しのきっかけをつくります。 保育士等がいきいきと働ける環境を実現し、安定的な保育を提供できる保育体制を確保します。					
②保育士サポートロイヤーによる法的側面からの相談・助言等	保育士等の職員が、安心して保育に専念できる環境を確保するために、保育士サポートロイヤーを導入し、法的側面からの相談・助言を行います。また、個別の相談だけではなく、定期的に集団での相談会等を実施します。					
【主な事業費】						
保育士サポートロイヤー委託料	1,000 千円					
タブレット端末リース費	39 千円					
【特定財源】						
家庭的保育支援者負担金	45 千円					
						
問合せ先	子ども生活部 保育・幼稚園課長 大坪			電話	724-2138	

件名		教育情報化推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
485,218			15,660	37,407	0	16,273
【事業の背景・目的】		Ⅱ 部別予算概要説明書 288 ページ				
<p>小学校では2020年度から、中学校では2021年度から新学習指導要領がスタートし、プログラミング教育などのICT機器を活用した学習が本格化しています。加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機にオンライン授業や家庭学習の必要性が高まっており、教員にはICTスキルの習得が求められています。</p> <p>市では、文部科学省が示すGIGAスクール構想に基づき、2020年度に児童生徒1人1台タブレット端末の整備を完了し、2021年度から運用を開始しました。</p> <p>全国の自治体で一斉にICT教育環境が整備された今、「教育で選ばれるまちだ」を目指し、教員のICT活用に対するサポートや、デジタルコンテンツを活用した個別最適化学習などにより、ICT教育を一層推進していきます。</p>						
【事業の内容】						
<p>①タブレット端末の操作や活用を支援するICT授業支援員を引き続き配置します。</p> <p>②より分かりやすい授業の実施と、教材の作成や板書の効率化を図るため、教科用デジタル教材等を引き続き活用します。</p> <p>③小・中一貫学習支援コンテンツを小・中学校の全学年で引き続き活用します。これにより9年間の学びの連続を実現し、AIによる個別最適化された学習及び授業を提供します。</p>						
【スケジュール】						
		2022年度	2023年度	2024年度		
①ICT授業支援員の配置		ICT授業支援員の訪問（各校月6回程度）				
②教科用デジタル教材（指導者用）導入		小学校：英語・算数 中学校：英語・数学				
③小・中一貫学習支援コンテンツ導入		小・中学校 全学年5教科				
【主な事業費】						
システム使用料（小・中一貫学習支援コンテンツなど）		282,662千円				
インターネット通信費（GIGAスクール回線など）		85,998千円				
委託料（ICT授業支援員など）		50,042千円				
備品購入費（大型提示装置など）		39,749千円				
【特定財源】						
公立学校情報機器整備費補助金（国1/2）		15,660千円				
公立学校情報機器整備支援事業補助金（都3/4）		37,407千円				
クラウド型小・中一貫学習支援コンテンツ保護者負担金		16,273千円				
問合せ先	学校教育部 指導課長 小池			電話	724-2178	

件名	子どもクラブ整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
175,393		15,921	57,921	0	70,514	31,037

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 202 ページ

「町田市子どもセンター基本構想」に基づき進めてきた市内 5 地区への子どもセンター整備については、子どもセンター「まあち」の開館(2016 年 4 月)をもって完了しました。引き続き、子どもの居場所の更なる充実を図るため、「新・町田市子どもマスタープラン」に基づき、子どもセンターを補完する子どもクラブの整備を進めます。整備にあたっては地域の子どもの意見を反映するとともに、木造建築により、整備地周辺の豊かな自然と調和し、木の温もりや柔らかさを感じられる施設を目指します。

【事業の内容】

小山田子どもクラブの建設工事に着手し、2023 年 7 月の開館を目指します。

施設の概要	所在地	小山田桜台 2-1-2
	敷地面積	1135.84 m ²
	延床面積	約 470 m ²
	構造	木造平屋建て
	利用対象	0 歳から 18 歳の児童及びその保護者
	主要施設	遊戯室、集会室、乳幼児室
	開館時間	10 時から 18 時
	休館日	日曜日、祝日、年末年始(12 月 28 日から 1 月 4 日)

【スケジュール】

年度	2022												2023			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
事業内容	入札・契約			整備工事												● 開館
													開館準備			

【主な事業費】

小山田子どもクラブ整備工事費	175,200 千円
小山田子どもクラブ工事監理委託料	0 千円
(2022～2023 年度債務負担行為事業 総事業費 300,567 千円)	

【特定財源】

次世代育成支援対策交付金(国)	15,921 千円
子ども家庭支援包括補助事業費補助金(都 1/2)	42,000 千円
児童館整備費補助金(都)	15,921 千円
公共施設整備基金繰入金	70,514 千円

問合せ先	子ども生活部 児童青少年課長 早出	電話	724-4097
------	-------------------	----	----------

件名	えいごのまちだ事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
178,670			0	0	0	0

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 288 ページ

グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上は極めて重要であり、大きな課題となっています。市では、これまで英語教育に先進的に取り組んできた素地を更に発展させ、英語によるコミュニケーション能力の育成に重心を置いた町田ならではの「えいごのまちだ」の取組を加速します。

町田発の新しい英語教育を義務教育の初期から展開することで、15年後、30年後の町田の未来を支える人材を育成すると同時に、「英語教育で選ばれるまちだ」を実現します。

【事業の内容】

小学校英語については、放課後英語教室全校実施、授業を指導・補佐する Machida English Promotion Staff[MEPS]全校巡回、町田市立小学校5年生全員を対象としたスヌーピーミュージアム校外学習実施などを継続し、英語を学び、活用する機会を確保します。

中学校英語については、GTEC(スコア型の英語4技能検定)の実施により、成果を測定するだけでなく、指導改善及び学びの軌道修正を可能とし、効果的な事業展開を実現します。

また、学んだ英語を「聞く」「読む」「話す」ことができる実践機会を提供する英語研修施設での移動英語教室を行う中学校に対するインセンティブとして、その生徒の交通費を補助します。

【スケジュール】

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
英語の教科化を先行実施	→		英語の教科化 全国実施	→	
①小学校放課後英語教室の実施	新規13校 〔累計16校〕	新規13校 〔累計29校〕	新規13校 〔累計42校〕	→	
②Machida English Promotion Staffの配置	新規3名配置	新規6名配置 〔累計9名配置〕	新規6名配置 〔累計15名配置〕	→	
③スヌーピーミュージアム校外学習			全校実施	→	
④GTECの実施		1年生実施	1年生実施	3年生実施	2年生実施
⑤移動英語教室の実施			新型コロナ感染拡大により中止	2校実施	3校実施
⑥ALT(外国語指導助手)の増員(小学校)	1校当たり 平均週20時間	→			
⑦ALT(外国語指導助手)の増員(中学校)	1校当たり 平均週4時間	1校当たり 平均週8時間	→		

【主な事業費】

- ①放課後英語教室講師謝礼 8,820 千円
- ④GTEC実施委託料 17,649 千円
- ⑥⑦ALT(外国語指導助手)派遣委託料 143,243 千円

(2020～2023年度債務負担行為事業 総事業費 423,764 千円)

問合せ先	学校教育部 指導課長 小池	電話	724-2178
------	---------------	----	----------

件名	中学校給食センター整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
223,289		0	0	132,000	0	91,289

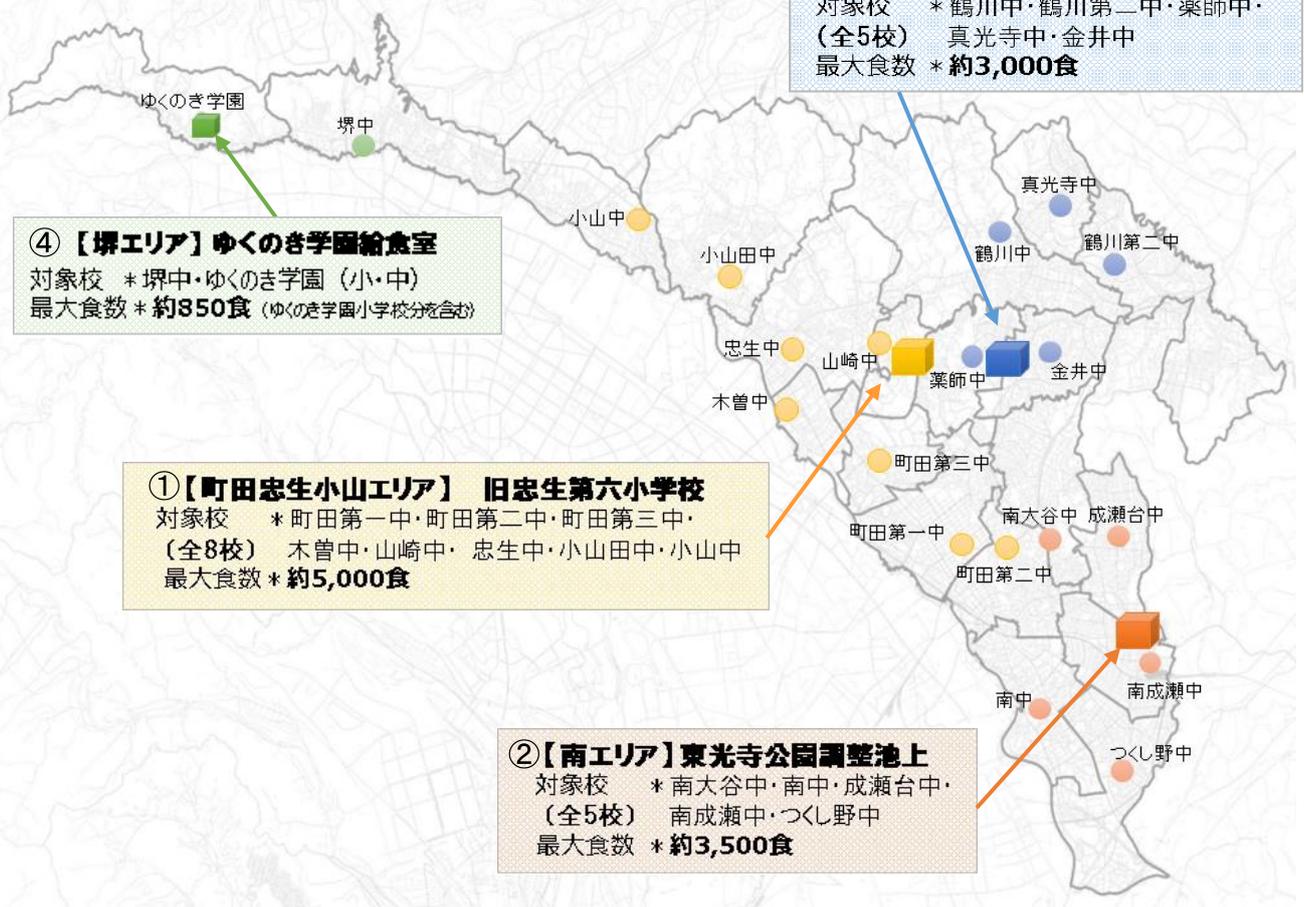
【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 284、287 ページ

2021年1月の町田市学校給食問題協議会答申に基づき、成長期の中学生全員に出来るだけ早期に温かい給食を提供するため、「給食センター方式」による中学校の全員給食を導入します。

2022年3月に策定する「(仮称)町田市中学校給食センター整備基本計画」に基づき、魅力的で美味しい給食を中学生に届けることに加えて、地域とつながりあい新しい価値を生み出しつづける給食センターを目指して、2025年度までに町田忠生小山エリア、南エリア及び鶴川エリアにそれぞれ給食センターを整備します。

■給食センターの配置



【事業方式】

エリア	①町田忠生小山	②南	③鶴川	④堺
事業手法	PFI手法 (BTO方式)	PFI手法 (BTO方式)	調理委託型 リース方式	ゆくのき学園給食室 で調理し、堺中に配 送。
事業期間	2023～2039年度 (稼働後15年間)	2023～2039年度 (稼働後15年間)	2022～2035年度 (稼働後11年間)	

※PFI手法…民間事業者が調達する資金で設計、施工を行い、その後の維持管理や運営もあわせて行う方式。

※BTO方式(Build Transfer Operate)…民間事業者が施設を建設し、施設完成直後に公共に所有権を移転し、民間事業者が維持管理・運営を行う方式。

【事業の内容】

2022 年度は、給食センターの整備・運営を行う事業者の選定を行います。①町田忠生小山・②南エリアについては、PFI 法(民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律)に基づいて事業者公募手続きを進めます。

また、中学校内での配送・配膳スペース確保に必要な改修工事に関する設計作業を行うとともに、町田忠生小山エリアの給食センター整備の準備として、旧忠生第六小学校の校舎等の解体工事を行います。

【スケジュール】

	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
①町田 忠生小山	事業者選定	解体工事 設計	工事	2025 年度 1 学期～ 全員給食
②南	事業者選定	設計 調整池工事	工事	2025 年度 2 学期 ～全員給食
③鶴川	リース事業者選定	設計	工事 調理事業 者選定	2024 年度 2 学期～全員給食
④堺		設計	工事	2024 年度 2 学期～全員給食

【事業費】

給食センター整備事業

事業者選定アドバイザー業務委託料	33,000 千円
敷地調査委託料	8,350 千円
中学校配膳室等改修工事設計委託料	5,500 千円

旧忠生第六小学校解体事業

旧忠生第六小学校解体工事費	176,439 千円
---------------	------------

(2022～2023 年度債務負担行為事業 総事業費 451,987 千円)

【特定財源】

学校施設解体事業債	132,000 千円
-----------	------------

問合せ先	学校教育部 保健給食課長 押切	電話	724-2177
	施設課長 平川		724-2174

件名	新たな学校づくり推進事業（統合新設・改築） ～ともに学び、ともに育つ学び舎づくり～					
	予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他
132,041		0	0	0	2,735	129,306

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 291 ページ

教育委員会では、児童・生徒数の減少と学校施設の老朽化に対応しながら、学校に通学して学ぶ意味を踏まえた、より効果的な学校施設環境の整備や学校と地域・保護者が協働して子どもたちを育てる学校づくりを進めるために、2021年5月に「町田市新たな学校づくり推進計画」（以下「推進計画」）を策定しました。

推進計画に基づき、2021年度から検討に着手している「本町田地区※1」「南成瀬地区※2」「鶴川東地区※3」「鶴川西地区※4」の統合新設校（計4校）を整備するための基本計画を2022年度に策定します。

また、南第一小学校※5における新たな学校づくりを進めるため、2022年度に基本計画検討会を設置し、基本計画を検討及び策定します。

※1:本町田地区

学校候補地：本町田東小学校（町田第三小学校・本町田東小学校・本町田小学校区）

新校舎使用開始目標年度：2028年度

※2:南成瀬地区

学校候補地：南第二小学校（南第二小学校・南成瀬小学校区）

新校舎使用開始目標年度：2028年度

※3:鶴川東地区

学校候補地：鶴川第二小学校（鶴川第二小学校・鶴川第三小学校区の一部）

新校舎使用開始目標年度：2029年度

※4:鶴川西地区

学校候補地：鶴川第四小学校（鶴川第四小学校・鶴川第三小学校区の一部）

新校舎使用開始目標年度：2029年度

※5:南第一小学校

新校舎使用開始目標年度：2028年度

【事業の内容】

①「本町田地区」「南成瀬地区」「鶴川東地区」「鶴川西地区」統合新設小学校 新たな学校づくり基本計画の検討・策定

2021年度から引き続き、新たな学校づくり基本計画検討会で学校名、育てたい子ども像、学校統合時の教育的配慮、通学の負担軽減・安全対策、統合新設小学校建設基本計画などを盛り込んだ統合新設小学校新たな学校づくり基本計画を検討し、策定します。

②南第一小学校 新たな学校づくり基本計画の検討・策定

育てたい子ども像、建替え時の教育的配慮、通学の負担軽減・安全対策、建替え基本計画などを盛り込んだ南第一小学校新たな学校づくり基本計画を検討するために、南第一小学校新たな学校づくり基本計画検討会を設置します。

南第一小学校 新たな学校づくり基本計画検討会を設置するにあたっては、新たな学校づくりの目的と必要性を共有しながら検討課題を把握するとともに、新たな学校づくり基本計画検討会の検討事項について対象校の児童、保護者などに意見募集を実施し、丁寧な検討を行います。

①②に併せて、各地区の統合新設小学校及び南第一小学校を整備する場合において、教職員の学校施設の管理運営負担を軽減しながら、学校を地域住民が地域の施設として、さまざまな活動に利用しやすくなるよう効果的・効率的な施設整備・管理運営方法を検討します。

【スケジュール】

①-1 「本町田地区」「南成瀬地区」統合新設小学校

年度	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
項目	基本計画 検討・策定	基本・ 実施設計		統合新設校建設工事 ※解体工事含む			新校舎 使用開始

①-2 「鶴川東地区」「鶴川西地区」統合新設小学校

年度	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
項目	基本計画 検討・策定	基本・実施設計※6			仮設校舎 建設※7	統合新設校建設工事 ※解体工事含む		新校舎 使用開始

※6 鶴川東地区は2023～2024年度

鶴川西地区は2024～2025年度

※7 鶴川東地区のみ想定

② 南第一小学校

年度	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
項目	基本計画 検討・策定	基本・実施設計	仮校舎建設	改築工事 ※解体工事含む			新校舎 使用開始

【主な事業費】

①4 地区建設基本計画策定支援・民間活力導入可能性調査支援業務委託料 (2021～2022 年度債務負担行為事業 総事業費 88,000 千円)	88,000 千円
②南第一小学校建替え基本計画策定支援委託料	17,325 千円
②南第一小学校民間活力導入可能性調査支援業務委託料	7,700 千円
①②広報紙・パンフレット作製委託料	1,765 千円

【特定財源】

まちだ未来づくり基金繰入金	2,735 千円
---------------	----------

問合せ先	学校教育課 教育総務課新たな学校づくり担当課長 小宮	電話	724-2172
------	----------------------------	----	----------

件名		小・中学校増改築事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
279,200			74,964	21,000	136,000	0
【事業の背景・目的】		Ⅱ 部別予算概要説明書 284 ページ				
<p>「高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」の一部改正に伴い、既存学校施設のバリアフリー化の取り組みが求められていることから、円滑な移動等に配慮が必要な生徒等への対応として、中学校にエレベーターを整備します。また、設置するエレベーターについては、中学校の全員給食の配膳にも利用します。</p> <p>また、2021年4月「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の一部改正により、小学校の学級編制の標準人数を2025年度までに段階的に引き下げることになりました。これに伴い、市内の公立小学校では、2023年度・2024年度にそれぞれ2校ずつ普通教室の不足が生じるため、2022年度中に校舎増築の設計や工事、既存校舎の教室転用工事などを行い、必要な教室の確保を図ります。</p>						
【事業の内容】						
①エレベーター設置事業						
中学校5校でエレベーター設置工事に向け、実施設計を行います。						
②35人学級編制対応事業						
2023年度に教室が不足する町田第一小学校は校舎の増築と既存校舎の教室転用工事を行います。南第一小学校は既存校舎の教室転用工事を行います。						
2024年度に教室が不足する鶴間小学校と南つくし野小学校は、増築校舎の実施設計を行います。						
【スケジュール】						
		2022年度		2023年度		
中学校5校エレベーター	契約手続	設計・建築確認		契約手続	エレベーター設置工事	
町田第一小	契約手続	校舎増築・教室転用工事				
南第一小		教室転用工事				
鶴間小・南つくし野小	契約手続	設計・建築確認		契約手続	校舎増築工事	
【主な事業費】						
①中学校エレベーター実施設計委託料(5校分)		29,073千円				
②校舎増築工事費(町田第一小)		154,262千円				
②校舎増築実施設計委託料(鶴間小、南つくし野小)		33,000千円				
②教室転用工事費(南第一小)		14,000千円				
【特定財源】						
学校施設整備費負担金(国1/2)		74,964千円				
市町村総合交付金(都)		21,000千円				
学校施設整備事業債		136,000千円				
問合せ先	学校教育部 施設課長 平川			電話	724-2174	

件名		キャリア教育推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
9,460		0	0	0	0	9,460

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 288 ページ

町田市では、全国学力・学習状況調査質問紙項目「将来の夢や目標をもっていますか」という質問の肯定的回答で、全国平均と比較すると小学校は 1 ポイント、中学校は 2.9 ポイント低い傾向があります。将来の職業への関心・意欲や夢や希望に向けて努力する力を向上させるためには、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の 4 つの能力を育むとともに、様々な職業・価値観に触れる機会を創出する必要があります。

これらを学ぶ「キャリア教育」について、小学校段階から力を入れるとともに、現在「キャリア教育」の一環として実施している中学校 2 年生による職場体験事業の見直しを含めたキャリア教育の取り組みの一層の充実を図ります。

【事業の内容】

2022 年度は、経営シミュレーションプログラムの実施、出前講座、ワークショップなどを取り入れます。出前講座（職業を知る）では、職場体験では体験できない職業の講師を呼ぶことで、生徒のニーズに応え、将来の夢や目標につなげていきます。

また、市内企業と連携し、この新しい取り組みを町田市版キャリア教育カリキュラムとして構築します。これは、出前講座やワークショップ講師のコーディネートやマッチング体制の構築及び 4 つの能力育成のために必要な取り組みを取り入れたカリキュラムを作成するものです。

これらの取り組みを通して、新たな「キャリア教育」を学校の義務教育課程の中で継続的に実施し、将来の夢や目標を持った子どもたちを育成します。

取組	能力など	新規/既存	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力	様々な職業・価値観
①中学校職場体験		既存	○	○			○
②小・中学生向け経営シミュレーション		新規	○	○	○	○	
③出前講座（税金・金融知識）		新規		○		○	
③出前講座（職業を知る）		新規				○	○
③起業家育成ワークショップ		新規		○	○	○	○
③地域課題解決ワークショップ		新規	○		○		○

【スケジュール】

取組み	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
①中学校職場体験	既存の職場体験事業 見直し期間		新しい職場体験事業	
②小中学生向け経営シミュレーション・③出前講座、ワークショップ	実施		町田市版キャリア教育カリキュラム	
④町田市版キャリア教育カリキュラム	構築			

【主な事業費】

①中学校職場体験生徒交通費	5,000 千円
②経営シミュレーションプログラム業務委託料	1,300 千円
③出前講座、ワークショップ講師謝礼	700 千円
④町田市版キャリア教育カリキュラム構築支援委託料	1,000 千円

問合せ先	学校教育部 指導課長 小池	電話	724-2178
------	---------------	----	----------

件名		町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
38,450			5,600	2,600	0	0
【事業の背景・目的】		Ⅱ 部別予算概要説明書 161、213、244 ページ				
<p>町田薬師池公園四季彩の杜は、薬師池とその周辺施設との連携を強化し、より多くの方々に訪れていただくことを目的に、「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画」(2014 年度作成)に基づき、施設整備や事業を進めています。</p> <p>2020 年 4 月には西園が開園し、四季彩の杜エリアの来園者数が 2020 年度、2021 年度と 2 年連続で 110 万人を超えるなどの賑わいをみせています。このエリアが更に魅力的になり、多くの方々に楽しんでいただけるように、各施設の整備・改修を進め、充実を図ります。</p>						
【事業の内容】						
<p>1 町田薬師池公園四季彩の杜の更なる魅力向上のため、新たな計画を策定します。</p> <p>2 リス園について、開園から 30 年以上が経過し施設の老朽化が進んでいることから、今後のリス園の魅力向上を図るため、検討を行います。</p> <p>3 南園について、施設の魅力及び集客力の向上を図る再整備を行うため、用地測量を実施します。</p>						
【スケジュール】						
年度	2022	2023	2024	2025	2026	
魅力向上計画	計画更改	計画推進				
リス園		基本構想	用地測量 基本計画	都市計画決定	基本設計	
北園		用地取得	基本設計	実施設計	整備工事 1/2	
南園	用地測量	都市計画決定	用地取得			
			基本計画	基本設計	実施設計	
【主な事業費】						
1 魅力向上計画策定支援委託料			7,500 千円			
2 リス園等改修工事費			1,000 千円			
3 南園測量委託料			21,950 千円			
【特定財源】						
3 地籍整備推進調査費補助金(国1/3)			5,600 千円			
3 東京都地籍整備推進調査費補助金(都1/4)			2,600 千円			
問合せ先	経済観光部 観光まちづくり課長 老沼			電話	724-2128	
	地域福祉部 障がい福祉課長 勝又				724-2147	
	都市づくり部 公園緑地課長 新				724-4397	

件名	シティプロモーション推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
33,636		0	0	0	0	33,636

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 99 ページ

「愛着」「誇り」を持って住み続ける市民を増やすとともに、より多くの市外居住者の「関心」「憧れ」を獲得し、「市内外から選ばれ続けるまち」を実現するため、「まちだシティプロモーション基本計画 22-26」に基づき、シティプロモーション推進事業を展開します。



ハッシュタグキャンペーン(2021年度実施)

【事業の内容】

1 町田の魅力をみんなで発信

町田市に関わる人々が「町田市のことをおすすめしたくなる」機会を創出するため、SNS 等を活用した取り組み等を実施し、町田の魅力を「伝えたい気持ち」を高めていきます。

2 町田の暮らしへの共感獲得

町田の暮らしを楽しむ人等に取材し、そのインタビュー記事等を掲載した PR 冊子を制作することで、町田市の空気や雰囲気魅力を魅力的に伝え、より多くの人々の「共感」を獲得します。また、「町田暮らしの魅力」をより広域に拡散し、認知・関心を得るため、テレビや雑誌、WEB 等のメディアへの露出獲得に向けたメディアプロモート業務を行います。

3 一人ひとりが広報マン

情報発信に関する知識・スキルを習得し、効果的な広報活動を行うことを目的に、職員を対象に研修等を実施します。また、町田市に関する新聞記事等のクリッピングや意識調査等を基に、情報発信の「量」や「質」を検証し、より効果的な情報発信につなげていきます。

【スケジュール】

年度	2022											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 町田の魅力をみんなで発信	SNS 等を活用した情報発信の実施											
2 町田の暮らしへの共感獲得	PR 冊子作成(取材・撮影・構成)					発行		配布・イベントの実施等				
	メディアプロモート活動											
3 一人ひとりが広報マン	WEB リリース及びクリッピング											
	広報力向上研修・講座						意識調査					

【主な事業費】

メディアプロモート業務委託料	14,950 千円
町田市 PR コンテンツ制作等業務委託料	13,570 千円



問合せ先	政策経営部 広報課長 樋口	電話	724-2101
------	---------------	----	----------

件名		里山環境整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
31,934			0	17,975	0	0
【事業の背景・目的】		Ⅱ 部別予算概要説明書 209 ページ				
<p>町田市は、都市の近郊でありながら、豊かな自然環境を有しています。また、今でも農の環境が残っており、歴史・文化の足跡も見ることができます。これらは町田市の魅力の一つであり、価値ある資産・資源であるといえます。こうした資産・資源を有効に活用し、持続可能なものとしていくため、「町田市里山環境活用保全計画」を2022年3月に策定します。</p> <p>この計画の将来像「住む人も 訪れる人も 居心地のよい まちだの里山」を実現していくため、地域住民や企業・団体等、多様な主体との連携・協働により里山環境の活用を推進します。また、地場産野菜の販売や食事の提供、里山の資源を活用した体験学習など、来訪者と地域住民が交流できる施設を小山田エリアに整備し、地域の賑わいを創出します。</p>						
【事業の内容】						
1 農地の再生						
小野路町地内の耕作が行われていない農地の整備を行い、農地の再生を図ります。						
2 森林の再生						
スギやヒノキの人工林の間伐を行い、水源のかん養や生物多様性の保全など森林の公益的機能の回復を図ります。						
		2021年度	2022年度	2023年度		
事業面積		約7ha	約7ha	約8ha		
3 交流回遊拠点施設の機能検討に向けた取り組み						
施設機能を検討するため、地域住民等を対象とするワークショップを開催します。						
【主な事業費】						
1 農地整備工事費		20,090 千円				
2 森林再生事業間伐等委託料		6,430 千円				
3 ワークショップ開催支援業務委託料		1,000 千円				
【主な特定財源】						
1 土地改良事業費補助金(都 1/2)		10,045 千円				
2 森林再生事業費委託金(都 10/10)		6,430 千円				
<里山環境の活用事例>						
						
		森林再生の様子		自転車(マウンテンバイク)		
問合せ先	経済観光部 農業振興課北部・里山担当課長 粕川			電話	724-2164	

件名	新商品・新サービス開発支援事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
12,617		0	0	0	12,617	0

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 211 ページ

市では、2019年3月に策定した「町田市産業振興計画 19-28」に基づき、事業者の“拡げる”チャレンジを後押しするため、新しいビジネスモデルや新技術の導入に挑戦する事業者を支援しています。

その取り組みの一つとして、2020年度に、市に寄せられたふるさと納税を活用して、「町田市新商品・新サービス 開発事業補助金」を新設しました。2021年度には、事業者の利用を促進するため、補助対象経費に商品開発を加え、さらに補助上限額を4倍に拡充しました。その結果、前年度より4件多い12件の申請を受け、6件を選考しました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中でも、積極的な商品・サービス開発にチャレンジしている事業者を引き続き支援し、市内事業者の競争力の強化と、付加価値の向上を図ります。



“拡げる”チャレンジ

【事業の内容】

市内事業者が実施する新商品・新サービスの開発及び開発に係る実証実験の費用の一部を補助します。

- ・補助対象者：市内で3か月以上事業を営んでいる中小企業者
- ・補助対象経費：新たな商品・サービスの開発、及び開発に際し国内で実施する実証実験に係る経費
- ・補助金額：対象経費の1/2(1事業者あたり上限2,000千円)

【スケジュール】

年 月	2022										2023		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
制度周知	→												
申請受付(4/1~5/31)	→												
第一次審査(書類)			→										
第二次審査(選考懇談会)				★									
交付決定					★								
事業実施					→								
実施報告・補助金交付										→			

【主な事業費】

新商品・新サービス開発補助金 12,000 千円
(2,000 千円 × 6 件)

【特定財源】

指定寄附金 12,617 千円

問合せ先	経済観光部 産業政策課長 増山	電話	724-3296
------	-----------------	----	----------

件名		野津田公園スポーツの森整備事業																												
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源																								
414,617			73,000	75,000	227,000	0	39,617																							
【事業の背景・目的】		Ⅱ 部別予算概要説明書 244 ページ																												
<p>2014年5月に「自然の中で楽しむ総合スポーツパーク」を目指し、第二次野津田公園整備基本計画を策定しました。総合スポーツパークとして機能を高めるため、施設稼働率の高いテニスコートの整備を優先的に進め、「スポーツの森」としての魅力を創出します。</p>																														
【事業の内容】		<p>2023年度の供用開始に向けて、テニスコート4面の整備工事を行います。これに伴い、既存の小野路屋敷をクラブハウスとして活用するための改修工事を行います。また、町田GIONスタジアムの日本陸上競技連盟第3種公認(5年間)を更新するため、トラックレーンの一部舗装打替えや、砲丸投げ、棒高跳び等の競技施設の改修工事を行います。</p>																												
【スケジュール】		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> <th>2026年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テニスコート整備</td> <td>整備工事</td> <td>●4月供用開始</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>町田GIONスタジアム改修</td> <td>改修工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>パークセンターゾーン整備</td> <td></td> <td>基本設計</td> <td>実施設計</td> <td>整備工事 1/3</td> <td>整備工事 2/3</td> </tr> </tbody> </table>						2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	テニスコート整備	整備工事	●4月供用開始				町田GIONスタジアム改修	改修工事					パークセンターゾーン整備		基本設計	実施設計	整備工事 1/3	整備工事 2/3
	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度																									
テニスコート整備	整備工事	●4月供用開始																												
町田GIONスタジアム改修	改修工事																													
パークセンターゾーン整備		基本設計	実施設計	整備工事 1/3	整備工事 2/3																									
【主な事業費】		<table> <tbody> <tr> <td>テニスコート整備工事費</td> <td>324,222千円</td> </tr> <tr> <td>町田GIONスタジアム改修工事費</td> <td>55,960千円</td> </tr> <tr> <td>クラブハウス外周壁撤去工事費</td> <td>9,560千円</td> </tr> <tr> <td>テニスコート工事監理業務委託料</td> <td>7,139千円</td> </tr> <tr> <td>クラブハウス改修工事費</td> <td>1,878千円</td> </tr> </tbody> </table>					テニスコート整備工事費	324,222千円	町田GIONスタジアム改修工事費	55,960千円	クラブハウス外周壁撤去工事費	9,560千円	テニスコート工事監理業務委託料	7,139千円	クラブハウス改修工事費	1,878千円														
テニスコート整備工事費	324,222千円																													
町田GIONスタジアム改修工事費	55,960千円																													
クラブハウス外周壁撤去工事費	9,560千円																													
テニスコート工事監理業務委託料	7,139千円																													
クラブハウス改修工事費	1,878千円																													
【特定財源】		<table> <tbody> <tr> <td>社会資本整備総合交付金(国 1/2)</td> <td>73,000千円</td> </tr> <tr> <td>市町村総合交付金(都)</td> <td>55,000千円</td> </tr> <tr> <td>都市計画費補助金(都 1/4)</td> <td>20,000千円</td> </tr> <tr> <td>都市計画事業債</td> <td>227,000千円</td> </tr> </tbody> </table>					社会資本整備総合交付金(国 1/2)	73,000千円	市町村総合交付金(都)	55,000千円	都市計画費補助金(都 1/4)	20,000千円	都市計画事業債	227,000千円																
社会資本整備総合交付金(国 1/2)	73,000千円																													
市町村総合交付金(都)	55,000千円																													
都市計画費補助金(都 1/4)	20,000千円																													
都市計画事業債	227,000千円																													
問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新			電話	724-4397																									

件名	忠生スポーツ公園整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
243,897		39,000	49,000	145,000	0	10,897

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 244 ページ

2017 年度に策定した熱回収施設等の周辺施設整備基本構想に基づき、最終処分場の一部を閉鎖し、その上部に多目的広場やバスケットボールコートなどの整備を行うことで、多世代が集える忠生スポーツ公園として活用を図ります。

【事業の内容】

2019 年度に行った実施設計に基づき、2021 年度までに敷地造成や構造物撤去、伐採等の整備工事を行いました。2022 年度は、多目的芝生ゾーンやスポーツゾーン等を仕上げる施設整備工事を行います。

【スケジュール】

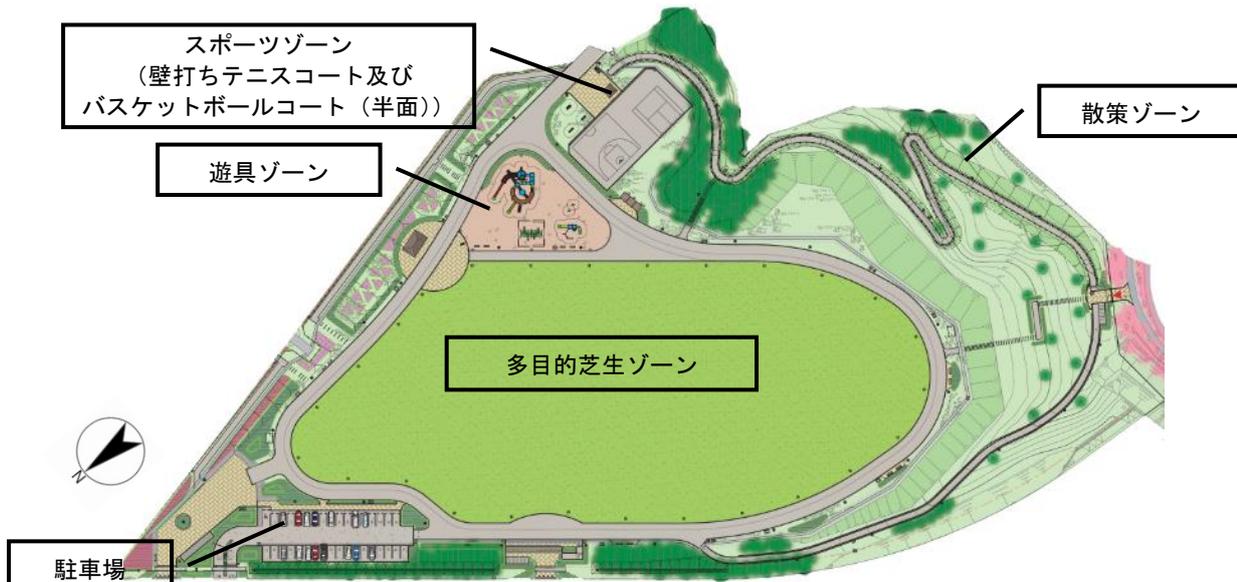
	2022 年度	2023 年度
公園整備	整備工事（池の辺地区）	●8 月開園予定

【事業費】

整備工事費	242,897 千円
（2022～2023 年度債務負担行為事業 総事業費 436,381 千円）	
トイレ等設計委託料	500 千円
工事監理委託料	500 千円

【特定財源】

社会資本整備総合交付金（国 1/2）	39,000 千円
市町村総合交付金（都）	35,000 千円
都市計画費補助金（都 1/4）	14,000 千円
都市計画事業債	145,000 千円



<完成イメージ>

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
------	-----------------	----	----------

件名		スポーツをする場の環境整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
221,698		0	36,000	135,000	20,000	30,698

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 244 ページ

2018 年度に策定した町田市スポーツ推進計画 19-28 に基づき、市民誰もがスポーツに親しめる環境を創出するため、学校跡地や予定地、高架下、調整池等の活用を図り、スポーツができる公園等として整備し、効果的・効率的な施設管理及び運営を行います。

【事業の内容】

小山上沼公園スポーツ施設及び後田グラウンドスポーツ施設を、公の施設として活用するために必要な施設整備を行います。

対象施設	予定地・面積	事業内容
①小山上沼公園 スポーツ施設	・小山ヶ丘 3 丁目 1-1 ・3,150 m ² （一次調整池を含まない）	・整備工事修正設計 ・整備工事
②後田グラウンド スポーツ施設	・本町田 2340-1 ・19,062 m ²	・駐車場整備工事

【スケジュール】

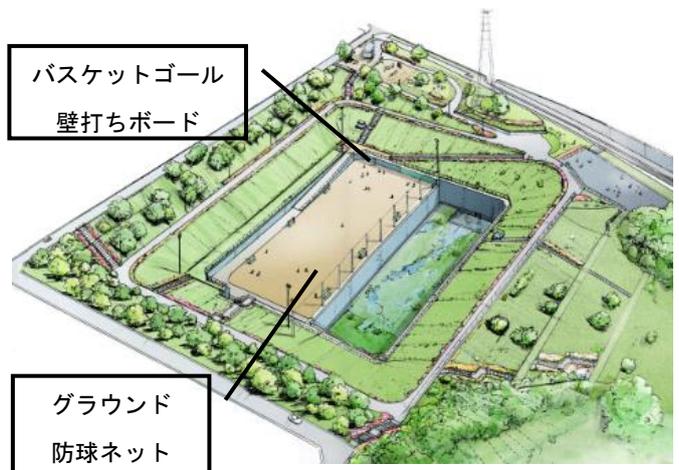
対象施設	2022 年度	2023 年度
①小山上沼公園 スポーツ施設	修正設計・整備工事	●4 月供用開始
②後田グラウンド スポーツ施設	駐車場整備工事	●4 月供用開始

【主な事業費】

- ①小山上沼公園 198,929 千円
スポーツ施設整備工事費
- ②後田グラウンド 20,000 千円
駐車場整備工事費

【特定財源】

- ①市町村総合交付金(都) 36,000 千円
- ①都市計画事業債 135,000 千円
- ①スポーツ振興くじ助成金 20,000 千円



<小山上沼公園スポーツ施設 完成イメージ>

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
------	-----------------	----	----------

件名	新たな図書館づくり推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
11,559		0	0	0	0	11,559

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 299 ページ

市では、「あらゆる市民が利用しやすい図書館」「子どもの読書活動を充実させる図書館」「地域のコミュニティ形成を支援する図書館」「地域の課題や社会状況の変化に対応する図書館」という、4つのめざす姿の実現に向けて、その実行計画である「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」に基づき、取組を進めています。そのような中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって暮らし方の大きな変化がもたらされ、また一方では、対面でのコミュニケーションや地域との関わりなど人と人とのつながりの大切さが再認識されています。

社会状況の変化に対応するため、暮らしに合わせた本に触れる機会を提供し、地域と「共に創り」「共に運営する」市民協働型の運営を進めます。

【事業の内容】

図書館再編をきっかけとして、鶴川図書館を地域と「共に創り」「共に運営する」市民協働型の運営へと再構築するため、2022年度は地域住民を主体とした運営団体の立ち上げを支援します。

【スケジュール】

事業内容	2022年度	2023年度	2024年度
市民協働型の運営への再構築	地域との対話・協働運営主体への支援		
	制度設計	協働運営の部分導入	地域との協働運営
	検討・組織化 → 運営団体立ち上げ		

【主な事業費】

市民協働型運営団体支援業務委託料 9,020 千円



問合せ先	生涯学習部 図書館長 中嶋	電話	728-8220
------	---------------	----	----------

件名		地域介護予防活動支援事業（介護保険事業会計）										
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源						
117,538			39,975	19,505	0	42,610	15,448					
【事業の背景・目的】		Ⅱ 部別予算概要説明書 179 ページ										
<p>町田市の高齢化率は2021年12月現在で約27%であり、団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年には、約37%に達する見込みです。今後も高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活を続けることができるよう、身近なところで介護予防への取り組みや社会参加ができる環境づくりを行います。</p>												
【事業の内容】												
①各高齢者支援センターに地域介護予防推進員を配置し、地域の介護予防活動を推進します。												
②「町トレ（町田を元気にするトレーニング）」を始めとした、介護予防活動を行うグループの立ち上げや活動継続の支援に取り組みます。また、オンラインを活用した活動も行えるよう、「町ネットサポーター（オンラインエサポーター）」の養成などを行います。												
③地域でのボランティア活動にポイントを交付し、商品券等で還元を行うことにより、ボランティア活動への参加を促す「いきいきポイント制度」を推進します。												
④介護予防に関する普及啓発などの地域活動を行う「介護予防サポーター」を養成します。												
【スケジュール】												
年度	2022											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①地域介護予防推進員	各地域にて介護予防講座・イベント・教室等の企画、実施等 →											
②「町トレ」支援	「町トレ」プレゼンテーション、スタート応援講座、継続支援の実施 →											
②オンライン活用支援	オンラインツールの使い方等に関する講座の実施、オンラインによる自主グループ活動のフォロー →											
③いきいきポイント制度	登録申請受付、研修実施、活動ポイントの還元 →											
④「介護予防サポーター」養成		養成講座 (第1期)実施 →	養成講座 (第2期)実施 →	養成講座 (第3期)実施 →	養成講座 (第4期)実施 →							
【主な事業費】												
①地域介護予防推進員事業業務委託料						68,400 千円						
②オンライン活用支援業務委託料（「町ネットサポーター」養成事業等）						9,978 千円						
③いきいきポイント事業業務委託料						8,617 千円						
④介護予防サポーター養成講座業務委託料						656 千円						
【主な特定財源】												
地域支援事業交付金（国 2/10）						22,408 千円						
地域支援事業交付金（都 1.25/10）						14,005 千円						
問合せ先	いきいき生活部 高齢者福祉課長 江成			電話	724-2141							

件名	次世代エネルギー等推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
6,450		0	600	0	0	5,850

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 218 ページ

町田市では、第3次町田市環境マスタープラン(計画期間 2022年度から 2031年度まで)において、「エネルギーを賢く利用し、気候変動の影響にも対応するまち」や「環境について、みんなで学び、協働を進めるまち」などを目標として掲げています。省エネルギーや再生可能エネルギーの普及・導入を進め、これらの目標を実現することにより、温室効果ガスの排出量を削減し、地球温暖化対策を行います。

【事業の内容】

- 1 次世代エネルギーの利用を促進するため、家庭用燃料電池(※)の設置奨励金を新設します。二酸化炭素排出量の削減を図ります。
- 2 小学生や中学生を対象とする水素エネルギーの普及啓発環境学習会を開催します。また、一般市民を対象とする水素エネルギーや再生可能エネルギーの普及や導入を促進するための講演会などを行います。

※家庭用燃料電池とは

都市ガスから取り出した水素と酸素の化学反応により発電する機器です(エネファーム等)。発電時に発生する熱を利用し、付属タンクの中に貯湯する機能も有しています。発電所から消費地まで送る際のエネルギーロスが無いため、電気を使用する際に排出されるCO₂が1台で年間約1.5t程度削減されます。

【スケジュール】

年度	2022											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 家庭用燃料電池設置奨励金	奨励金申請準備・受付・交付											
2 学習会・講演会開催	企画・日程調整			環境学習会・講演会開催								

【事業費】

1 家庭用燃料電池設置奨励金	5,250 千円
2 環境学習会業務委託料	1,100 千円
2 環境学習会講師謝礼	100 千円

【特定財源】

2 地域環境力活性化補助金(都 1/2)	600 千円
----------------------	--------



小学校での水素環境学習の様子

問合せ先	環境資源部 環境政策課長 宮坂	電話	724-4379
------	-----------------	----	----------

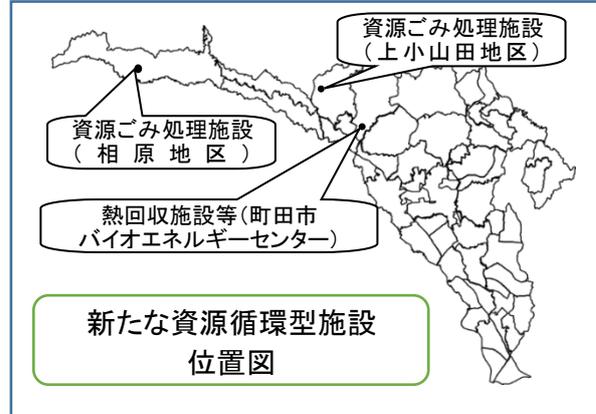
件名	循環型施設整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
549,406		97,333	19,000	218,000	37,083	177,990

【事業の背景・目的】

「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき、資源を有効に利用する循環型社会の構築に向けて、老朽化したごみ処理施設に代わり、資源循環型施設を分散して配置するものです。

熱回収施設等（焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設）を町田リサイクル文化センター敷地内に、資源ごみ処理施設（容器包装プラスチック、ビン、カン等）を市内2箇所（相原地区、上小山田地区）に整備します。

Ⅱ 部別予算概要説明書 221 ページ



【事業の内容】

1 熱回収施設等

2017年度から工事に着手し、2022年1月に新工場が本稼働しました。2022年度は、引き続き既存工場棟の解体工事に着手します。

<事業概要>

事業名	町田市熱回収施設等（仮称）整備運営事業
施設名称	町田市バイオエネルギーセンター
建設地	下小山田町3160番地（旧町田リサイクル文化センター敷地内）
面積	敷地面積：約77,000㎡ 延床面積：工場棟約17,000㎡、管理棟約5,200㎡
事業方式	施設の設計・建設・解体及び約20年間の運営を包括的に委託するDBO方式
業務概要	施設整備業務：設計・建設・解体（既存施設）（2016年12月～2024年6月） 施設運営業務：運営管理・維持管理（2022年1月～2041年3月）
施設概要	熱回収施設（焼却施設）：ストーカ方式 258t/日（129t/日×2炉） バイオガス化施設：乾式高温メタン発酵 50t/日 不燃・粗大ごみ処理施設：機械選別・手選別 47t/5h



現況写真（2022年1月本稼働）



完成イメージ図（既存工場棟解体後）

<スケジュール>

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	～2040
1 熱回収施設等	★ 契約	設計		施設整備工事			●稼働 運営			
		造成工事					既存工場棟解体工事 ストックヤード棟整備等		●整備事業完了	
		旧管理棟等 解体工事								

2 資源ごみ処理施設(相原地区)

2022年度は、資源ごみ処理施設整備に向けた調査や法令手続き等を行います。

【主な事業費】

1 熱回収施設等

整備工事費 340,000 千円
 (2016～2024年度債務負担行為事業 事業費 29,487,618 千円 施設整備事業費)
 (2019～2024年度債務負担行為事業 事業費 1,485,198 千円 落じん灰回収設備等+スライド条項)
 (2021～2022年度債務負担行為事業 事業費 157,256 千円 工場棟外壁石綿除去)
 (整備工事費全期間総事業費 31,251,798 千円(2021年度管理棟仕様変更等 121,726 千円を含む))

土壌汚染調査委託料 54,450 千円
 (2021～2022年度債務負担行為事業 総事業費 54,450 千円)

工事監理委託料 35,600 千円
 (2016～2024年度債務負担行為事業 総事業費 287,280 千円)

2 資源ごみ処理施設

物件補償費積算委託料(相原地区) 7,500 千円
 土地鑑定委託料(相原地区) 5,317 千円

【特定財源】

循環型社会形成推進交付金(国 1/3) 97,333 千円
 市町村総合交付金(都) 19,000 千円
 廃棄物処理施設整備事業債 218,000 千円
 廃棄物減量再資源化等推進整備基金繰入金 37,083 千円

問合せ先	環境資源部 循環型施設整備課長 田中	電話	724-4384
------	--------------------	----	----------

件名		地域における福祉の困りごと相談支援体制強化事業										
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源						
3,500			2,625	0	0	0	875					
【事業の背景・目的】		Ⅱ 部別予算概要説明書 159 ページ										
<p>「8050 問題」や「ダブルケア」など、市民の困りごとが複雑化・複合化しているなか、相談者が身近な地域の相談支援機関において、まとめて相談することができ、早期に複数の支援機関による連携した支援サービスを受けることができる体制づくりが課題となっています。</p> <p>また、要支援者と支援機関をつなぐ役割は、これまでその一端を民生委員・児童委員が担ってきましたが、成り手不足が顕在化しています。このような中、ひきこもり等により必要な支援につなげることができない潜在的な要支援者を早期に支援につなげる体制づくりも課題となっています。</p> <p>こうした困りごとを抱える方を早期に適切な相談支援機関につなげ、必要な支援を迅速に行うことができるよう、「町田市地域ホットプラン」に基づき、行政の高齢者・障がい者・子ども・保健等の各分野が、これまで培ってきた専門性を活かしつつ分野横断的に連携する体制を構築します。また、NPO 法人や地域活動団体等と協働した支援を行うなど、地域における相談支援体制の強化を図ります。</p>												
【事業の内容】												
<p>複雑化・複合化する福祉の困りごとを抱えた方の相談に迅速に対応し、解決を図ることができるよう、①包括的な相談支援、②潜在的な相談者に対する継続的なアウトリーチ支援について、2023 年 1 月から事業を実施するための仕組みを検討します。</p>												
①包括的な相談支援												
<p>複雑化・複合化した困りごとを抱えた方が、高齢者、障がい者、子ども等の地域における各相談支援機関を移動することなく、1 カ所ですべて相談でき、各分野の専門機関から迅速、かつ、より効果的な支援を受けられる包括的な相談支援の実施に向けた検討を行います。</p>												
②潜在的な相談者への継続的なアウトリーチ支援												
<p>地域の潜在的な相談者の情報を収集し、本人と直接対面したり、継続的な関わりを持つことで、適切な支援機関につなげるとともに、既存の公的支援では解決が図れない場合においても、NPO 法人や地域活動団体等と協働し、一人ひとりの状況に応じた支援を行う「地域福祉コーディネーター」の導入に向けた検討を行います。</p>												
【スケジュール】												
年	2022									2023		
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3～
事業内容	各相談支援機関との事業の運用検討・調整									事業実施		
【事業費】												
福祉の困りごと相談支援体制強化支援委託料							3,500 千円					
【特定財源】												
生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(国 3/4)							2,625 千円					
問合せ先	地域福祉部 福祉総務課長 吉本						電話	724-2133				

件名		成年後見制度利用支援事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
67,156			1,197	21,495	0	145
【事業の背景・目的】		Ⅱ 部別予算概要説明書 159 ページ				
<p>2016年5月に成年後見制度の利用の促進に関する法律が施行され、地方公共団体は成年後見制度の利用の促進に関する施策を自主的かつ主体的に実施するとされています。</p> <p>今後、認知症高齢者等の増加に伴い、成年後見制度の利用ニーズは高まることから、市は「町田市成年後見制度利用促進基本計画」に基づき、判断能力が低下しても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう成年後見制度の利用を支援します。</p>						
【事業の内容】						
<p>地域の権利擁護支援を主導する成年後見制度中核機関を、町田市社会福祉協議会に委託します。地域の関係機関・団体で構成される地域連携ネットワークの強化、市民・関係者からの相談、成年後見人等の支援、適切な利用者支援のための権利擁護支援検討委員会の開催、市民後見人の育成を推進します。</p> <p>本人が申立できない場合や申立できる親族がない場合など、緊急に管理・契約が必要な状態の方について、市長が家庭裁判所に成年後見制度開始の申立を行います。</p> <p>診断書作成料や申立手数料等の申立費用や後見人等への報酬の負担が困難な方に対し、申立費用及び後見人等への報酬を助成します。</p>						
【スケジュール】						
2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度		
中核機関業務委託						
第5期 市民後見人育成研修	第6期 市民後見人育成研修		第7期 市民後見人育成研修			
【主な事業費】						
成年後見制度中核機関業務委託料			41,737千円			
成年後見人等報酬及び審判請求費用助成金			17,691千円			
【主な特定財源】						
地域生活支援事業費補助金(国 1/2)			1,197千円			
地域福祉推進区市町村包括補助事業費補助金(都 1/2)			20,897千円			
問合せ先	地域福祉部 福祉総務課長 吉本			電話	724-2133	